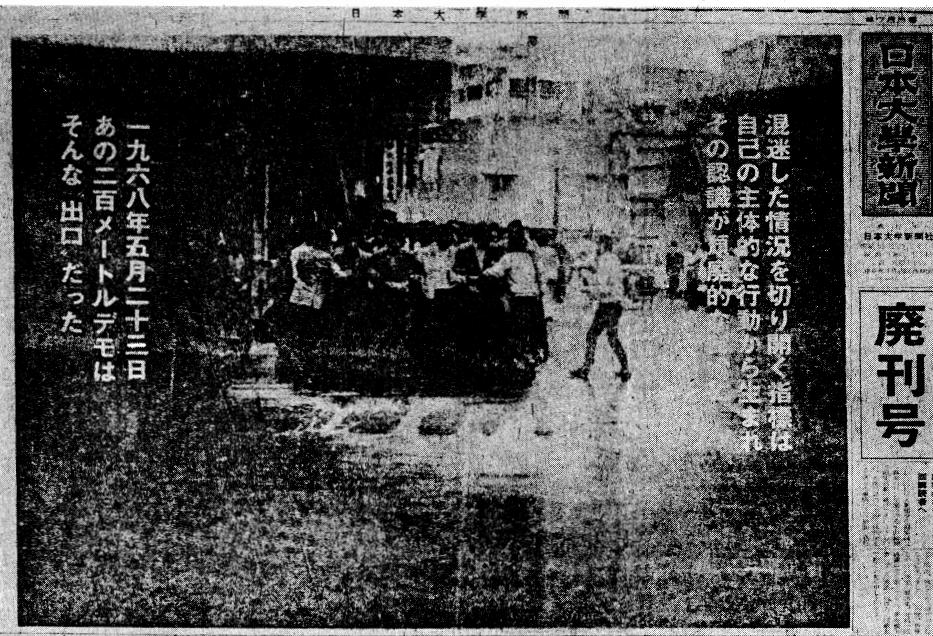


日本大学新聞廃刊さる

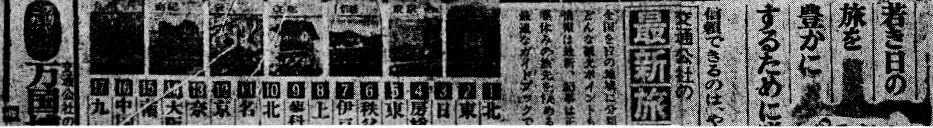
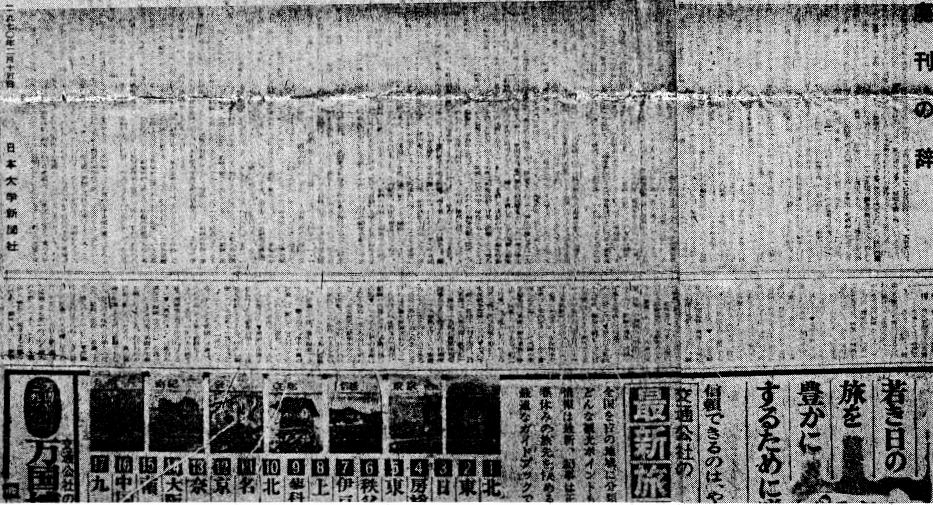
日本大學
学生新聞

第10号
日本大学新聞会



混迷した情況を切り開く指揮は
自己の主体的な行動から生まれ
その認識が頑固的

あの二百メートルデモは
そんな出口だった



学生は全員退社

大学、廃刊号を没収・焼却

廃刊号

説明文

廃刊号

7年間遅すぎたへ

東大との連帯



「國連合の結成」

70年闘争への“出口”

現在的立場の究明を 否定されるべき責任転稼

くたばれ外資系企業！

あなたがこうお考えなら
日本ユニカーもだまっていられません。
カンカンガクガク
おはなししませんか。

外資導入にはそれなりの必然性があります。すぐれたもの同様に並びければ、さらにすぐれたものが生まれるのはどうぞのことです。いまさら日本だ、外国などなどと騒ぎたて時代でもないでしょう。すべての企業が国際性を要求されているというのに。
しかも日本ユニカは、世界最大級の米国ユニオンカーバイド（UCC）社の高圧ポリエチレン技術をはじめ、日本の資本・技術・スタッフを結集して、高度の成長を記録しているまい。

日本ユニカは「えらんだ道」の正しかったことを十分に説明できます。
あるいは、あなたには（外資系だから……）のべつのイメージがあるかもしれません。あなたのお考えもぜひ知りたいと考えています。
カンカンガクガクはなし合おうではありませんか。